

## 第3回輪講資料 『ロボット制御基礎論』 pp.11-38

著者: 吉川恒夫  
担当: 脇本 怜奈

March 18, 2025

### 概要

#### 2.1 物体の位置と姿勢

##### 2.1.1 物体座標系

基準座標系を  $\Sigma_A$ , 原点を  $O_A$ , 直交する 3 軸を  $X_A, Y_A, Z_A$  とする。

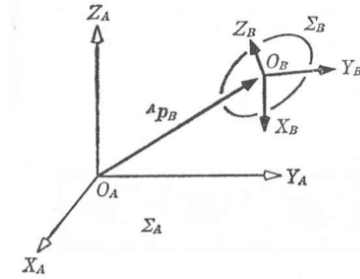


Figure 1: 図 2.1: 基準座標系と物体座標系

##### 2.1.2 回転行列

回転行列を

$${}^A\mathbf{R}_B = [{}^A\mathbf{x}_B \quad {}^A\mathbf{y}_B \quad {}^A\mathbf{z}_B] \quad (1)$$

と表現する。 ${}^A\mathbf{x}_B, {}^A\mathbf{y}_B, {}^A\mathbf{z}_B$  は互いに直交する単位ベクトルであるので、以下の式 (2.3)(2.4) を満たす。

$$({}^A\mathbf{R}_B)^T ({}^A\mathbf{R}_B) = \mathbf{I}_3 \quad (2)$$

$${}^A\mathbf{R}_B^{-1} = ({}^A\mathbf{R}_B)^T \quad (3)$$

つまり、回転行列  ${}^A\mathbf{R}_B$  は直交行列の性質を持ち、座標変換に用いられる。

### 2.1.3 オイラー角

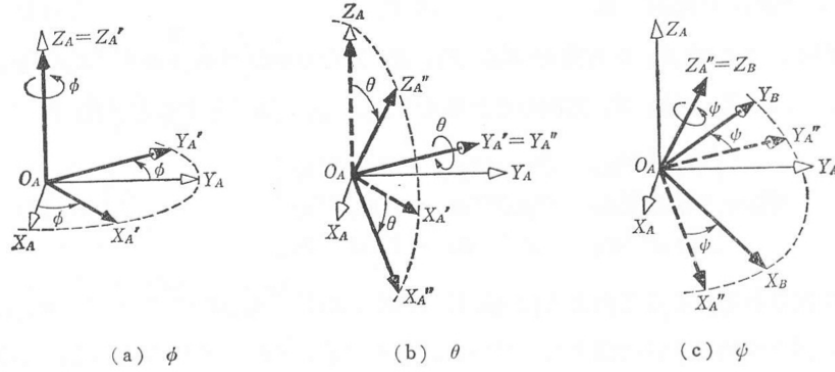


Figure 2: 図 2.4: オイラー角

オイラー角を用いた制御では、図 4 に示すように物体の姿勢を 3 つの回転角の組であるオイラー角  $(\phi, \theta, \psi)$  で表す。オイラー角が与えられたときの回転行列  ${}^A\mathbf{R}_B$  は一意に定まる。 ${}^A\mathbf{R}_B$  を式 (2.20) に示す。

$${}^A\mathbf{R}_B = \begin{bmatrix} C_\phi C_\theta C_\psi - S_\phi S_\psi & C_\phi C_\theta S_\psi + S_\phi C_\psi & C_\phi S_\theta \\ S_\phi C_\theta C_\psi + C_\phi S_\psi & -S_\phi C_\theta S_\psi + C_\phi C_\psi & S_\phi S_\theta \\ -S_\theta C_\psi & S_\theta S_\psi & C_\theta \end{bmatrix} \quad (4)$$

次に、任意の  ${}^A\mathbf{R}_B$  から対応するオイラー角を定める。 ${}^A\mathbf{R}_B$  を式 (2.22) のように定める。

$${}^A\mathbf{R}_B = \begin{bmatrix} R_{11} & R_{12} & R_{13} \\ R_{21} & R_{22} & R_{23} \\ R_{31} & R_{32} & R_{33} \end{bmatrix} \quad (5)$$

atan 2 を

$$\text{atan2}(a, b) = \arg(b + ja) \quad (6)$$

とすると、 $R_{13}^2 + R_{23}^2 \neq 0$  なら

$$\theta = \text{atan2}\left(\pm\sqrt{R_{13}^2 + R_{23}^2}, R_{33}\right) \quad (7)$$

$$\phi = \text{atan2}(\pm R_{23}, \pm R_{13}) \quad (8)$$

$$\psi = \text{atan2}(\pm R_{32}, \mp R_{31}) \quad (9)$$

### 2.1.4 ロール・ピッチ・ヨー角

オイラー角による姿勢表現では  $Z_a''$  軸周りに角度  $\psi$  回転させたが、ロール・ピッチ・ヨー角による姿勢表現では  $X_a''$  軸周りに角度  $\psi$  回転させる。この様子を図 (2.6) に示す。

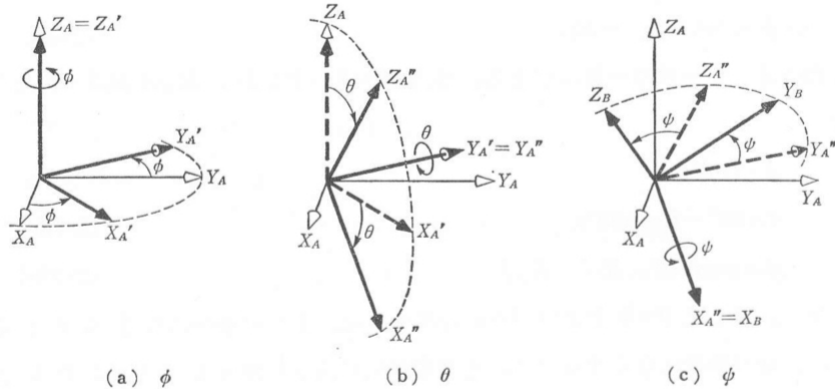


Figure 3: 図 2.6: ロール・ピッチ・ヨー角

## 2.2 座標変換

### 2.2.1 同次変換

2つの座標系  $\sum_A$  と  $\sum_B$  について、 $\sum_A$  の座標系の位置を  ${}^A\mathbf{r}$ ,  $\sum_B$  の座標系の位置を  ${}^B\mathbf{r}$ ,  $\sum_B$  の  $\sum_A$  に対する位置を  ${}^A\mathbf{p}_B$ 、姿勢の回転行列を  ${}^A\mathbf{R}_B$  とすると

$$\begin{bmatrix} {}^A\mathbf{r} \\ 1 \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} {}^A\mathbf{R}_B & {}^A\mathbf{p}_B \\ 0 & 1 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} {}^B\mathbf{r} \\ 1 \end{bmatrix} \triangleq {}^A\mathbf{R}_B \begin{bmatrix} {}^B\mathbf{r} \\ 1 \end{bmatrix} \quad (10)$$

と表される。

## 2.3 関節変数と手先位置

### 2.3.1 一般的関係

### 2.3.2 リンクパラメータ

### 2.3.3 リンク座標系

### 2.3.4 順運動学問題の解